

経営指導員が発見! キラ★星 企業

No.91

姫路商工会議所には様々な業種や規模の事業所が加入されています。

そのなかで、当所経営指導員が出会った「キラッ」と光る事業所の取り組みをご紹介します!



※1

大型機械による切削加工技術が強み、 2008年には高砂市に超大型機械導入の ための新工場を設立

株式会社フクトクテクノスは中型から超大型重量品まで、金属の切削加工を行う。長年、大手重工企業との直接取引を中心に、時代やニーズに合わせて様々な製品を加工し、経験と技術を培ってきた。姫路市内の本社工場では、最大荷重50トンのクレーンが稼働。温度管理した状況下で1/1,000mmの精度で加工が可能で、エネルギープラント部品などを生産する。また、2008年には高砂市に超大型重量物を加工するための新工場を設立。最大荷重150トンものクレーンが稼働し、超大型重量物の曲面加工に対応する。

この高砂工場では同社はキャスクの加工を行っている。キャスクとは原子力発電所で発生する使用済核燃料棒を輸送・貯蔵するための容器で、①密封機能、②遮蔽機能、③臨界防止機能、④徐熱機能において高い性能が求められる。またその大きさは代表的なもので直径が約2.5m、長さが約5.5m、重量は約110トンとかなりの重量だ。この重量物を高い精度で加工するには、大型の加工設備やそれを扱う技術力が求められる。

アルマ望遠鏡や核融合実験炉などの 国際プロジェクトにも携わる

同社はこれまで国際プロジェクトにも携わってきた。南米チリの標高5,000mの高地に建設され、2011年に科学観測を開始した巨大望遠鏡「アルマ望遠鏡プロジェクト」がその一つだ。パラボラアンテナ66台のうち16台は日本で開発したもののだが、同社はその製品加工に携わった。また国内での組み立て場所として、高砂工場に白羽の矢が立ち、関係企業が組み立てと調整のために高砂工場に一堂に会した。

また、人類初の試みである、核融合実験炉ITER（イーター）プロジェクトでは、主要機器である大型コイルの加工工程に携わった。

大型機械の加工技術でキャスクを加工
アルマ望遠鏡やITERなど国際プロジェクトにも応用
株式会社フクトクテクノス 代表取締役 福田善之 / 専務取締役 福田 梓

会社があるのは社員のおかげ 社員に伝える「一燈照隅」の精神

2代目社長の福田善之氏は26歳という若さで会社を引き継ぎ、この9月には経営者歴60年目を迎える。福田氏は「長い経営者人生の中で、会社を存続させるために事業や社員のことで決断を迫られ、身を裂くような思いで決断を下したこともありました。そんな会社と私をここまで連れてきてくれたのは紛れもなく社員たちです。」と話す。多種類の設備を備え、多様な加工に携わる同社だが、それらを動かすのは現場の人間。操縦熟練には時間と社員の意欲が必須だ。また、同社は生産高の向上やお客様のトラブルへの迅速な対応のために工場の大型機械を24時間稼働させる。昨年、高砂工場が稼働を止めたのはわずか数日間のみだった。この会社の方針を支える社員に福田社長は「一燈照隅」という言葉を投げかける。自分のやっていることは会社の日常業務のひとつだとしても、それを何十年も精一杯続けられれば、それは社会貢献になり、自分という存在が世の中の役に立っているのだという考えだ。

関わる全ての方とのご縁を大切に

福田社長は「これからも関わる全ての方とのご縁を大切に、誠心誠意仕事と向き合いたいです。当社で働いてくれている社員が生き生きと活躍できる会社でありたいですし、お客様の信頼に応えるべく、頼まれごとの一歩先まで形にするような提案型企業として進化を続けたいです。」と話す。

DATA

事業内容：三次元設計による、精密曲面加工、大型3D加工、大型重量物機械加工、一般精密機械加工、各種試験片加工

所在地：〒671-0232 姫路市御国野町御着358番地
電話：079-252-5555

HP：http://www.fukutoku-group.jp

※1 参照：経済産業省資源エネルギー庁HP

https://www.enecho.meti.go.jp/about/special/johoteikyoo/kanshiki_tyozou.html